

けあき

医療の原点は思いやり

2025
SEPTEMBER

33
vol.



呼吸器内科医師

特集

INDEX

- 中東遠地域を支える呼吸器疾患診療の拠点
- 呼吸ケアサポートチーム
- 吸入薬を正しく使って効果的に治療
- 呼吸筋ストレッチ

中東遠地域を支える呼吸器疾患診療の拠点



診察風景

呼吸器疾患を中心としたサブスペシャリティー領域の専門医療機関

磐田市立総合病院の呼吸器内科では、ウイルスや細菌に起因する肺炎や胸膜炎、肺結核等の感染症、肺がんや胸膜中皮腫等の悪性疾患、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性疾患、肺の空気が胸腔内に漏れ出して肺組織がつぶれてしまう気胸、多くが原因不明の特発性間質性肺炎や長期にわたり吸入したタバコ煙が原因となる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、そしてこのような種々の基礎疾患の経過中に呼吸機能が低下し、酸素を体内に十分に取り込めなくなる呼吸不全にいたるまで、幅広い呼吸器領域疾患の診療を行っています。46万人が暮らす中東遠地域の医療機関の中で、唯一呼吸器内科専門医が複数名在籍しており、患者個々での異なる病態に対応するため、アレルギー・気管支鏡・感染症・喘息・結核・非結核性抗酸菌症などの各専門医やがん治療認定医の資格も取得している医師達が、看護師や薬剤師等の多職種と協同して診療できることが当科の特徴です。

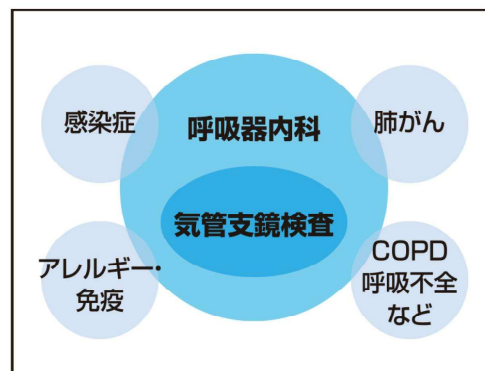


図1 呼吸器内科の診療領域

常に最良の医療提供を目指して

当科では、どの医師が担当となっても変わらぬ医療を提供できるように、連日カンファレンスを開催しています。治療方針の決定に際してはガイドラインに定められているエビデンスを基盤に、相互に議論を深め、最新の医療知識も取り入れながら患者さんごとに常に最良の医療を提供できるように努めています。このため、呼吸器外科や放射線治療科も交えた、3科合同のカンファレンスを毎週開催して密に連携をとっています。



3科合同カンファレンスの様子

最新の機器を用いた呼吸器内視鏡検査

年間300件を超える(令和6年度実績:330件)呼吸器内視鏡による検査や処置を行っています。最新の機器を用いた診断法として、びまん性肺疾患の診断に、二酸化炭素で凍結して大きな検体を採取できるクライオプローブを使用した凍結生検^{※1}(クライオ生検)を行っています。また、末梢領域の小さな病変に対しては細径気管支鏡と超音波プローブを併用し、病変の局在を超音波で同定しながら生検を行っています(図2)。

クライオ生検は挫滅^{※2}が少なく、大きな組織を採取できるため、腫瘍性病変では組織診断とともにより正確なゲノム(遺伝子)診断が期待できます。当院はがんゲノム連携病院であり、積極的に腫瘍性病変にもクライオ生検を実施することにより、正確なゲノム(遺伝子)診断が可能です。縦隔リンパ節の生検に関しては、従来の吸引生検に加えて鉗子を挿入する最新の方法も取り入れています。その他、気胸に対する気管支鏡治療(気管支内腔充填術)や胸水貯留の診断・治療に局所麻酔下胸腔鏡を用いる等、専門的な知識や経験が必要な様々な検査や治療を行っています。

※1：生体検査の略。組織や臓器の一部を採取し、顕微鏡で調べること。 ※2：衝撃や圧迫などで、内部の組織が破壊されること。



気管支鏡検査風景

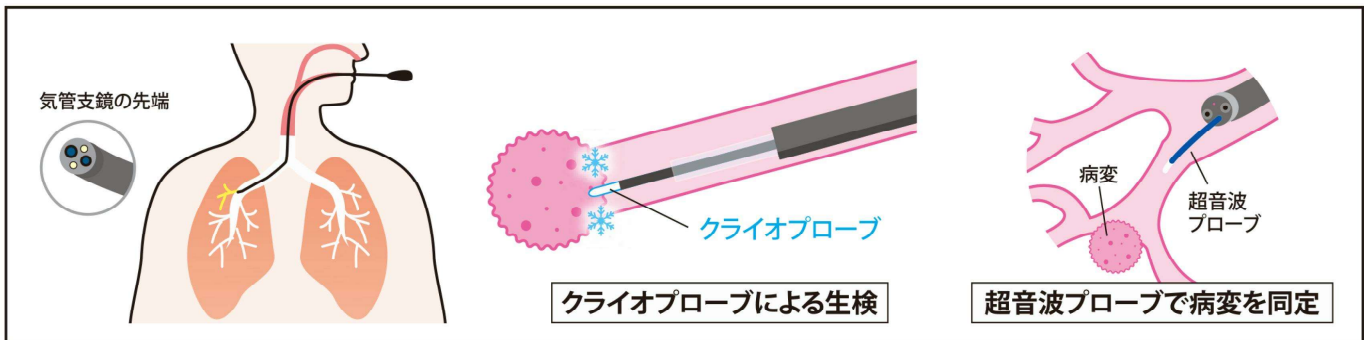


図2 クライオプローブと超音波プローブを用いた気管支鏡検査

予防医療も推奨しています

慢性閉塞性肺疾患(COPD)や間質性肺炎等の呼吸器疾患をもつ患者さんはインフルエンザや新型コロナウイルス、RSウイルス等の感染で重症化したり、これらの感染が契機となり基礎疾患の悪化の可能性が指摘されています。また市中肺炎の原因として一番頻度の高い肺炎球菌は、時に「侵

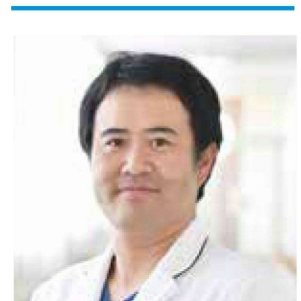
襲性肺炎球菌感染症」として重症になることがあります。これらの感染症に対してはワクチンによる予防効果が知られています。外来診察時に主治医よりこれらのワクチン接種の提案があった場合は、是非接種を検討していただくことをお勧めします。

若手医師の指導にも力を入れています

当院は各種学会の研修指定病院に認定されており、複数の指導医が在籍していることから若手医師の指導も充実しています。独自の研修プログラムを組んでおり、幅広い知識と経験を積んで一人前の総合内科専門医、呼吸器内科専門医に成長することで将来の地域医療を担う人材を養成する役割も果たしています。

最新の検査や治療方法を取り入れ、地域の中核病院として呼吸器疾患を中心とした幅広い疾患に対応し、高度で最新の医療を提供できるように心がけています。

咳や息切れ、検診異常などお困りの際には、一度当院へご相談ください。



呼吸器内科部長

はら だ まさ のり
原田 雅教

安全で質の高い呼吸療法を目指して、 患者さんと医療者を支援

～呼吸ケアサポートチーム(RST:Respiratry Support Team)～

当院には急性呼吸不全や慢性呼吸不全により人工呼吸器管理が必要な患者さんが入院しています。RSTは安全で質の高い呼吸療法の実践に貢献できるよう、医師や看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士などがチームを組んで活動し、新生児から高齢者まですべての人工呼吸器をつけた患者さんの管理に関わっています。



RSTチームメンバー



定期回診の様子



カンファレンス風景



技士による保守点検

構成メンバー

医師（呼吸器内科、麻酔科、小児科）、看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士、事務職員で構成されており、医療スタッフが力を合わせ、人工呼吸器をつけた患者さんの安全性や管理の質の向上のために活動しています。

主な活動

●定期回診

人工呼吸器をつけた患者さんのベッドサイドへ訪問し、人工呼吸器の設定や安全の確認、環境整備・ケアの確認や助言を行っています。

●呼吸状態の評価や診療の助言

主治医や病棟スタッフからの呼吸ケアに関する相談に対して助言を行っています。

●呼吸療法に関するマニュアル作成

院内で安全に呼吸管理が行われるように、呼吸療法に関する各種マニュアルを作成し標準化を推進しています。

●人工呼吸器関連肺炎の予防

人工呼吸器管理中の合併症として肺炎があり、人工呼吸器関連肺炎と呼ばれます。この人工呼吸器関連肺炎の発症予防のための対応について、周知や助言を行っています。

●教育

看護師を対象としたキャリアアップ研修や気管切開チューブ講習会、メディカルスタッフを対象とした吸引講習会を行っています。



呼吸ケアサポートチームリーダー
呼吸器内科科長

にし もと こう じ
西本 幸司

多職種で支えるRST

患者さんにご家族の不安にも寄り添うケアを目指して

私たち看護師の役割は、人工呼吸器を使っている患者さんの呼吸の様子をしっかり観察し、安全に治療・ケアができるようにすることです。医師やリハビリテーションスタッフなど多職種と協同して、患者さんが少しでも早く呼吸器を外せるようにサポートします。また、患者さんやご家族にとって、人工呼吸器や酸素療法は分からないことだらけで不安も多いと思います。不安を和らげるような声かけや説明を行い、気持ちに寄り添うことも大切な役割のひとつです。今後もRSTの看護師として、呼吸に関する新しい知見や技術を身に付けて、患者さんに安心していただけるよう看護をしていきたいと思っています。



スズキ 看護師

医療機器を介して呼吸療法をサポート

呼吸が困難だったり、不十分な患者さんの呼吸を助ける人工呼吸器などの機器保守点検、修理、緊急時の対応、取り扱いに関する指導や研修の実施などを通して、安全に呼吸療法が行えるようサポートしています。また、RST回診に参加し、多職種と連携しながら患者さんの状態に合わせた適切な人工呼吸器設定を提案、機器の安全管理を徹底しています。今後も、機器管理の徹底、最先端機器の情報提供、スタッフ教育による技術や知識の標準化を図り、患者さんにとってより良い呼吸療法が提供できるよう機器管理のスペシャリストとして貢献していきます。



すずき 鈴木 臨床工学技士

お口のケアを通して感染を予防

患者さんのお口のケアを通して、全身が良い状態を保てるようにお手伝いをしています。人工呼吸器を使っている患者さんは、お口の中が汚れていると細菌が肺に入り、人工呼吸器関連肺炎になることがあります。お口の清掃を行うことで感染を予防しています。また、機械による圧迫で唇などに傷がついたり、酸素をたくさん送り込まれることでお口が乾燥したりといった粘膜の状態にも注目し、それぞれの患者さんにあわせて必要なケアを行っています。お口を清潔で健康な状態に保つことは、元気を取り戻すための大切な一歩です。今後も患者さんが早く回復できるよう、お口のケアを行っています。



やまざき 山崎 歯科衛生士

呼吸ケアの標準化を目指して

人工呼吸器を装着している患者さんを対象としたラウンドや主治医、病棟スタッフからの依頼に基づき、呼吸状態の評価や早期離床、安楽な呼吸のための体位調整、排痰援助などに関する助言を行っています。また、呼吸療法に関する各種マニュアルの作成や更新、看護師、医療スタッフ向けの研修への参加を通じ、呼吸ケアの標準化と質の向上にも関わっています。私たちはチーム医療の一員として、人工呼吸器からの早期離脱と身体機能の維持や回復、生活の質の改善のため、知識と技術の研鑽に努め、個々の患者さんに最適な呼吸ケアを提供できるよう尽力してまいります。



ふじわら 藤原 理学療法士



けやきの木の下で ～ちょっと役立つ話～

「吸入薬を正しく使って効果的に治療」

薬剤部 田代 薬剤師



吸入薬は、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)の治療に欠かせないお薬です。

薬剤を口から吸い込むことで、直接肺や気管支に届けるため、より速やかにかつ効果的に作用を発揮します。必要な場所に直接薬剤が届くため、口から飲むよりも少量の薬剤で効果が得られるほか、全身性の副作用が少ないことも特徴です。

しかし、吸入薬の効果を最大限に引き出すためには、正しく吸入することが必要です。正しく吸入できていないと、薬剤が肺や気管支に届かず、効果が得られないだけでなく、思わぬ副作用が出てしまうこともあります。

患者さんの適切な薬物治療のため、薬剤師は吸入器具の種類や特性に応じて吸入手技の指導を行っています。吸入器具にもさまざまな種類があるため、ご自身に合った吸入器具の選択などのサポートを行える場合もあります。

吸入の方法への不安や、吸入薬に関する疑問などありましたら、薬剤師までお気軽にご相談ください。



理学療法士から“ちょこっとアドバイス”

呼吸筋ストレッチ

リハビリテーション技術科

呼吸器疾患のリハビリテーションは、呼吸器の病気を抱える方が日常生活を安心・安全に送るために必要な治療法のひとつです。主な効果として、呼吸困難感の軽減、体力や筋力の向上、日常生活動作の改善、さらには生活の質の向上が期待されます。

具体的なリハビリの内容には、歩行練習、スクワットなどの下肢の筋力トレーニング、呼吸練習、排痰方法の習得などがあります。これらを継続的に行うことにより、入院回数や入院日数を減少させる効果、健康寿命の延長などが期待できます。

筋力トレーニング(スクワット)



手順

- ① 何かにつかまる
- ② 肩幅に足を開く
- ③ ゆっくりとおしりをおろす

！ スクワットのコツ

- 呼吸を止めないで吸ってから動作をはじめ、吐きながら膝を曲げる
- 少し腰を引き、膝がつま先よりも前に出ないように調整する
- 10回を1セットとして、1日3～5セットを目安に行いましょう
- いつもよりも呼吸が苦しい時や痰が多い時、膝や腰が痛い場合には無理をせず、休みましょう

院内日記

磐田市立総合病院ニュース

2年目看護師対象に高齢者看護研修を実施しました!

当院の看護師は、高齢者の日常生活の不便さを自ら体験することで、高齢者が安心して過ごせる療養環境について考え、高齢者看護の質向上を目指しています。

先日、高齢者疑似体験研修を行いました。疑似体験グッズを装着し、車いすの動作や歩行、自動販売機での購入など、実際に体験を通して、加齢に伴う身体の変化が、実生活でどのような不便さや危険を伴うのかを改めて実感しました。また、身体拘束体験を通して、高齢者や看護師の立場を深く考える良い機会となりました。

この研修を活かし、患者さん一人ひとりに寄り添った看護を提供していきたいと思えます!



使用済切手を 磐田市社会福祉協議会へ寄付しました!

職員のアイデアで、院内で発生する使用済み切手を社会福祉協議会に寄付する取り組みを始めました。3カ月ほどかけて約300グラムの使用済み切手が集まりました。6月16日に磐田市社会福祉協議会へ寄付をし、長谷川会長にお渡ししました。

社会福祉協議会を通じて、ボランティア団体等がしおりを作成し販売したり、1kgあたり1,250円で収集家に買い取ってもらったりすることで、ボランティア活動の推進や、海外の医療の発展などに使われます。

今後も継続して寄付を行い、病院全体で「医療の原点は思いやり」の理念の実現に取り組んでまいります。



iwatagram

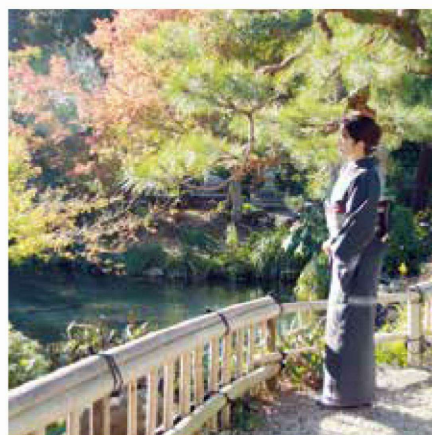
職員の特技や趣味を紹介します

すぎもと

杉本 歯科衛生士



着付けを習っています。着物を身にまとうと自然と背筋が伸びて、気持ちまで整うような気がします。



#袖 #博多帯 #清水邸 #着物のある生活
#着物好きな方と繋がりたい



総量 (1人分あたり)

エネルギー 330kcal 炭水化物 72.1g

たんぱく質 5.5g 脂質 11.0g

食塩相当量 0.9g

材料(4~5人分)

- ・米 2合
 - ・さつまいも 中1本
 - ・干しいたけ 10g
 - ・しめじ 1/2パック
 - ・ねぎ お好みで
- 調味料
- ・酒 大さじ2
 - ・みりん 大さじ2
 - ・減塩だし(塩分60%オフ) 小さじ1
 - ・塩 小さじ1/2

食材を炊飯器に入れて、炊き込むだけで簡単に調理可能です!



作り方

秋の味覚!きのこことさつまいもの炊き込みご飯

- ① 洗米し、炊飯器の目盛まで水を注ぎ、調味料を入れる。
- ② よく洗ったさつまいもを半分に切る。しいたけは水で戻し、食べやすい大きさに切る。しめじは石附を落として、割く。
- ③ 炊飯器に食材を入れて、炊き込みモードで炊飯する。
- ④ お好みでねぎを散らす。



おいしい「!」がある
pokka Sapporo



※広告内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、取扱商品等については、磐田市立総合病院が必ずしも推奨するものではありません。

臓器移植普及推進月間 グリーンライトアップ開催

病院からの
お知らせ



毎年10月を「臓器移植普及推進月間」として、移植医療の一層の定着、推進を図るため、全国で広く移植医療の現状を周知するとともに、移植医療に対する理解と協力のための普及啓発を行っています。

当院でも推進月間のイベントの一環として、10月1日~30日(18:00~翌6:00)に正面玄関前の看板を移植医療のシンボルカラーの緑色にライトアップを実施します。また、磐田市民文化会館「かたりあ」では10月24日(18:00~翌6:00)にライトアップが行われます。



▲
昨年の県内の様子は
こちらから
ご覧になれます。



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保512番地3

TEL:0538-38-5000 FAX:0538-38-5050

<https://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>



過去の「けやき」
はこちら



インスタグラム
はこちら



フェイスブック
はこちら